



青葉匂う

四日市市立港中学校通信

平成30年度 第7号

7月11日(水)発行

中体連三泗予選に向けて皆で燃えよう！

期末テストが終わり、1学期があとわずかになってきました。今年の中体連三泗予選は例年の同一日開催ではなく、14日(土)水泳競技(霞ヶ浦プール)の競技が先に行われます。1学期終業式翌日の21日(金)～23日(日)の3日間は、その他の競技が開催されます。競技種目により開催日が異なるため、応援日程の調整にご注意ください。予選の詳細については、各顧問から部員を通じて連絡します。

この中体連の大会は、三泗地区予選を勝ち抜くと、県大会、東海大会、全国大会へとつながる中学校生活最大の大会です。運動部に所属する3年生の皆さんにとっては、活動の集大成の大会となります。最高の仲間と最高の試合ができるように頑張ってください。

保護者およびご家族の皆様には、この機会にご友人等もお誘いの上、お子様やご友人のお子様の頑張っている姿をご覧いただき、熱い応援をお願いします。職員も生徒が最大限力を発揮できるよう最善を尽くします。21日(金)から始まる競技については、学校通信第8号で簡単にお知らせします。

中国天津市使節団が来校

6月29日(金)に、中国天津市からの視察団を市内の小中学校を代表して本校に迎えました。視察団は、天津市の国際教育交流の代表、教育局の代表、耀華中学校長、衛東路小学校長の6名です。会議に先立ち本校の施設見学をしていただきました。その後、本市の防災教育について説明し、意見交流を行いました。使節団からの主な質問は、生徒の安全管理に関してのことでした。また、耀華中学校では、日本と同様に、いじめ問題や暴力行為に対する対応や保護者からの苦情などの対応について苦慮していることがわかりました。



夏季休業中の補充学習日・質問日

各学年とも5教科の補充学習を、4日設定しています。この機会に苦手な分野を克服しましょう。また、質問日も教科ごとに、2日～3日の設定をしています。夏休みの課題や授業内容、自主勉強のことなどについて遠慮せず聞きましょう。補充学習や質問日は、しばらく会わない先生と顔を合わせる良い機会にもなります。詳細は、「夏休みのしおり」でご確認ください。

学校施設環境整備状況(6月末現在)

学校通信4号でお知らせしました「学校施設の修繕について」いくつか改善しましたので報告します。①テニスコート南側ウォータークーラー水漏れ修理、②体育館北側壁時計修理、③生徒昇降口天井穴修理、④2階男子生徒更衣室ロッカー穴修理

生徒の活躍と出演紹介 おめでとうございます！

6/30	四日市東部ブロックバスケットボール サマーカップ大会男子の部	準優勝	
		優秀選手賞	3年:渡邊葵琉
7/1	四日市ソフトテニス協会長杯中学男子の部	3位	3年:山口智也 2年:内山太陽
9/1	キラキラサイダー(三重四日市リトルミュージカル) 出演(あさけプラザホール)	2年:サムワース瑛里紗	
		1年:井分未幸 河野美心	

特集 「自己肯定感」を高める

近年、社会で自己肯定感が着目されています。自己肯定感については、人間関係など、人生の様々な面でその有無や高低が影響を及ぼすということがわかってきています。例えば、自己肯定感が低い子どもは、自分の将来に希望が持てず、結果的にやりたいことや得意なことを見つけれないまま進学したり、就職をしたりして大人になっていきます。そのため、仕事等でも新しいことにチャレンジできず、人間関係も広げられず、離職したり引きこもり状態になったりします。

また、自己肯定感は、幼少期までに「親から自分の存在を肯定する多くの愛情を注いでもらえたか」が重要なポイントだと言われています。子どもは、自己肯定感が、早い段階で形成されると、精神的に自立し、自分なりの考えや信念に基づいた行動をとることができるようになります。逆に、虐待や過干渉、誤った教育観などによって育つと、否定的な考えに陥りやすくなったり、自分の基準で物事を考えられなかったり、自己嫌悪になってしまったりして、生きづらさを感じてしまうようです。そのため、時として、非行や犯罪に走ってしまうこともあります。

昨年度4月実施の全国学力・学習状況調査の生徒質問の中から、「自尊感情」に関わる結果は次の通りでした。

「自分には良いところがあるか」は、24.1%で全国平均値より4.1pt低く、「難しいことでも挑戦するか」は、17.7%で2.2pt低く、「物事やり遂げてうれしかったことがあるか」は、64.6%で8.7pt低い結果でした。

過去数年間の結果もおおよそ同様で、本校の生徒たちは「自己肯定感が低い」状況にあることがわかっています。

そこで、日常の学校生活や学校行事などを通して、個人的な達成感だけでなく、仲間とともに達成感を味わう経験を今まで以上にする必要があります。同時に、各家庭においても「認められたり、褒められたりする喜び」を多く経験する必要があります。家庭教育と学校教育が手を携えて、お子さんの自尊感情を高め、それぞれの夢の実現にむけて努力できるような子どもの育成をしていきたいと考えています。文部科学省も小学校高学年以上の子どもの発達における重視すべき課題のひとつとして「自己肯定感の育成」を挙げています。

次に、「自己肯定感が低い人の主な特徴」と「自己肯定感を高める主な方法」を挙げますので、(1)の自己肯定感が低い人の主な特徴に当てはまる人やどちらかといえば当てはまる人も、(2)自己肯定感を高める主な方法を読んで、実践してみましょう。

(1) 自己肯定感が低い人の主な特徴

- ① 褒め言葉を素直に受け取らない: 自分で自分を認めていないため、他人が認めてくれるとは思えない。
- ② 叱られたり、欠点を指摘されたりすると傷つき、素直に謝れない: 自尊心が低いため、自己をすべて否定されたと思ってしまう自分を高めるための意見として受け取れない。
- ③ 他人の目を気にする: 他人からの評価＝自分の価値という考えに陥り、自意識過剰になる。
- ④ チャレンジする前に諦める: できない自分と向き合うのが怖いため、やらない方が傷つかなくて済むと考える。
- ⑤ 自分を責める: 過去の失敗をいつまでも引きずって自分を責めたり、自分に関係のないことさえ自分のせいだと考えてしまったりする。
- ⑥ 発言がネガティブ: 後ろ向きの言葉を口癖のように言う。
- ⑦ 他人を信用できない: 人が社会生活を過ごす上で、他者との関わりは不可欠であるが、基本的に信頼感を構築できていないため、心を許し信頼できる友人や知人を作れない。
- ⑧ 尊大に振る舞う: 一見自信がありそうで自己肯定感が高く見える人も、実は劣等感があるため、「すぐに怒ったり、強さを誇示したりするような態度をとり、相手よりも優位に立とうとする。」「他人を批判したり、クレームをつけたりして、他人を批判して価値を下げることにより、自分の価値が上がったと思いこむ。」などです。

(2) 自己肯定感を高める主な方法

- ① 人に親切にする: 「誰かの役に立っている」というイメージを持てるようになるとともに、ほかの人から感謝されることで、独りよがりではない、バランスが良い自分を感じることができる。
- ② 「ありがとう」と言う: 他の人からの褒め言葉を受け入れ、素直に「ありがとう」や「うれしい」と言う習慣をつける。
- ③ 長所を活かす: 自分の短所も長所も認めただうえで、長所を活かすと、自分を貴重な存在だと思えることができる。
- ④ 相談者を見つける: 自分の進むべき道を導いてくれ、心を許したくなるような人を見つけることが効果的である。
- ⑤ 目的意識を持つ: 理想的な未来を実現するための現在を肯定する。目標を持つことにより、それを実現するための計画及び行動により未来が見えてくる。